



第33回 高柳賞贈呈式 公益財団法人 浜松電子工学奨励会 令和元年12月21日 於 ホテルクラウンパレス浜松

2019.12. 21

令和元年度高柳記念賞、高柳研究奨励賞受賞者が下記の方に決定しました。

受賞者

■高柳記念賞

氏名 猪川 洋

所属 静岡大学電子工学研究所

研究課題：[「室温動作テラヘルツ用マイクロ波メータの性能向上指針確立と実験的検証」](#)

■高柳研究奨励賞

氏名 大田 良亮

所属 浜松ホトニクス(株)中央研究所

研究課題：「画像再構成不要 PET に向けた高時間分解能検出器の研究開発」

志村 洋介

所属 静岡大学工学部

研究課題：「高 Sn 組成を有する多結晶 SiGeSn 三元混晶の開発と熱電変換デバイス応用」

氏名 Chandler Damon Michael

所属 静岡大学工学部

研究課題：「ライブビデオの画質を自動的に予測する次世代技術」

氏名 増澤 智昭

所属 静岡大学情報学部

研究課題：「アモルファスセレン半導体薄膜のキャリア増倍原理分析と光検出器への応用」

氏名 元垣内 敦司

所属 三重大学大学院工学研究科

研究課題：「ナノオーダーの周期構造を利用した光学素子の作製と評価、光デバイス応用に関する研究」

静大・猪川教授に
高柳賞の記念賞
光の検出器研究



賞状を受け取る猪川洋教授＝浜松市中区で

電子科学分野で顕著な業績を上げた研究者をたたえる「第二十三回高柳賞」の贈呈式が二十一日、浜松市中区のホテルクラウンパレス浜松であり、静岡大電子工学研究所教授の猪川洋さん(六三)＝浜松市中区上島に記念賞が贈られた。

健次郎の功績を記念し、浜松電子工学奨励会が一九八五年から研究者に贈呈している。畑中義式理事長が「地方の少ない研究費の中で役に立つ研究を奨励する目的で行っており、今年も素晴らしい研究者を表彰できて光栄」とあいさつし、猪川さんに賞状を手渡した。

猪川さんは、光が当たった時の温度の上昇で、光を感知する検出器の性能の向上に貢献した。検出器はサイズを小さくすると性能が落ちると考えられていたが、一部の部品は、長さと同幅、厚さを同じ割合で縮小することで性能が上がることを突き止めた。

受賞者を代表し、猪川さんは「高柳先生のおかげで、浜松には光に関する研究や機関が集まっている。この環境があつての受賞で、これからも画像科学を盛り上げていきたい」と話した。(糸井絢子) ほかの受賞は以下のみなさん。

中日新聞
2019年12月22日朝刊

猪川教授
静岡大
に高柳記念賞

浜松で表彰式 奨励賞は5氏



浜松電子工学奨励会の高柳賞を受賞した電子科学分野の研究者＝21日午前、浜松市中区

日本のテレビ放送美柳賞贈呈式を同区で開催に貢献した高柳健次郎氏(1899～1990)の功績をたたえる「第二十三回高柳賞」の贈呈式が二十一日、浜松市中区のホテルクラウンパレス浜松で行われ、猪川洋教授が選ばれた。

畑中義式理事長は「20年先、30年先を見据え、役立つ研究をする。画像科学のエコシステムに貢献できるように誓います」と謝辞を述べた。

高柳賞は1985年に始まり、33回目。若手研究者を対象にした19年度の奨励賞受賞者は次の通り。

- 大田良亮(浜松ホトニクス中央研究所研究員)
- 志村洋介(静岡大工学部助教)
- チャンドラー・ティモン・マイケル(静岡大工学部准教授)
- 増沢智昭(静岡大情報学部講師)
- 元垣内敦司(三重大学理工学研究科准教授)

静岡新聞
2019年12月22日朝刊